

令和7年度日本教職大学院協会研究大会 「講演」「パネルディスカッション」概要

1 実施日時

令和7年12月13日（土）13:30～16:40

2 会場

秋田大学手形キャンパス 教育文化学部3号館 145教室

（秋田県秋田市手形学園町1-1）

※収容可能人員 250席程度

3 開催方法

対面およびZoomによるオンライン配信のハイブリッド

※講演・報告者が秋田大学へ来学して行うものとする。

※オンライン配信を行う。

4 全体の趣旨

独立行政法人教職員支援機構(NITS)が令和4年7月にNITS戦略を策定したことを受け、新たな学びの姿の実現と研修観の転換に向けて、自ら問いを立て協働的に探究する「探究型研修」に取り組むことが全国の教職員に求められている。個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒のみならず、教師にも求められている。まさに教師の学びは子どもの学びの相似形であるといえる。

そこで、講演とパネルディスカッションを通じ、学習観・指導観の転換及び学校課題の多様化・複雑化を踏まえ、教職大学院で育成すべき実践力について考えることとする。子どもの学び（授業観・学習観）の転換がなされている令和の教育において、自ずと教職大学院における「養成観の転換」が求められる。特に現職院生には自らの実践や教育課題に対する理解や改善・解決を志向し、探究的・研究的に取り組むことのできる資質や能力を身に付ける学びが必要となっている。

最初に、講演者から「学び合いのコミュニティ形成」の背景や目指すところを提示していただいた上で、養成と研修に携わっているパネリストから研究や実践の発表をしていただき、さらにコメンテーターからは、教職大学院における新たな養成観とそれに接続する教育現場における教員研修など、養成と研修の今後のあり方について提言をいただく。

これを機会として「学び合いのコミュニティ形成」の意図が浸透し、各教職大学院が相互に学び合いの交流を通じてつながり、本研究大会の講演題にある「学び合いのコミュニティ」を形成する契機となることを願っている。

5 講演者・パネリスト等

講演者

佐野 壽則 独立行政法人教職員支援機構 前審議役（60分）

パネリスト

吉田 美穂 弘前大学教職大学院教授・NITS弘前大学センター長（約15分）

町支 大祐 帝京大学教職大学院准教授（約15分）

鎌田 勉 秋田県総合教育センター指導主事（約15分）

（秋田大学教職大学院学校マネジメントコース修了）

コメンテーター

島谷 千春 独立行政法人教職員支援機構 審議役（約 10 分）

佐藤 修司 秋田大学教職大学院教授 専攻長（約 10 分）

コーディネーター

和田 渉 秋田大学教職大学院教授

6 発表方法

対面で行うとともに、Zoom ミーティングを用いて、内容をライブでオンライン配信する。
講演・報告者は、Zoom の画面共有機能を用いて資料を共有しながら講演・報告を行う。オンライン参加者の質問・意見等はチャットのみにて受け付ける。質疑応答時間には、発表者、対面参加者でやり取りを行い、オンライン参加者の質問・意見等は司会がチャットを読み上げる形で取り上げる。

7 参加方法

オンライン参加者は、講演・報告資料がある場合は事前にダウンロードして、Zoom の音声・カメラともにオフにし、講演・報告等を視聴する。

質疑応答の際には、オンライン参加者がチャットに書き込んだ質問・意見等を司会が読み上げる形で行うので、時間内に取り上げることができない場合がある。また、質問・意見等はできるだけ発表者の報告時間中に行う。

8 その他

- ・この要項に定めるもののほか、実施に関して必要な事項が生じたときは、大会校及び企画委員会等において協議し決定する。
- ・新型コロナウイルス感染症に係る状況によっては、実施方法等を変更する場合がある。